

(施策評価表46)

【施策番号Ⅲ-9-②-2】

取組みの方向性	安心を実現する	戦 略	【戦略9】人が人として互いに尊重される安全安心な熊本 ～一人ひとりを大切に、一人ひとりが大切にされる、 安全安心な社会を実現します～	主な施策	◆交通事故から暮らしを守る ～交通安全対策の強化～
			②安全安心な社会の構築		

1 取組内容	2 主な事業	担当課	H25予算(千円) H24決算(千円)	3 平成24年度の主な成果	4 平成25年度の推進方針・推進状況	5 施策を推進する上での課題	6 今後の方向性
<p>・安全な交通社会の構築に向け、マナー向上などの自転車の安全利用のための取組みや、飲酒運転根絶に向けた県民総ぐるみの啓発活動を展開します。</p>	<p>県民参加型飲酒運転根絶等特別啓発事業</p>	<p>くらしの安全推進課</p>	<p>959 960</p>	<p>・高齢者の交通事故防止のためにラジオをはじめとした各種広報媒体を利用した啓発を行った。</p> <p>・飲酒運転根絶等を主な目的として、県民参加型のテレビ広報を実施したところ、多くの募集(1,499件)を得て効果的に実施することができた。</p> <p>・H24年中における自転車乗車中の当事者が関係した人身事故は1,202件(全事故の12.2%を占める)発生し、前年と比べ84件減少した。また、飲酒運転による人身事故は、74件発生したが前年と比べ8件減少し、死傷者数も35人減少した。</p>	<p>・多発する高齢者の交通死亡事故の減少に向けて各種啓発を行う。</p> <p>・飲酒運転の根絶に向けて引き続き取り組む。</p> <p>・自転車の安全利用に向けた啓発活動を行う(今年度新規に導入した自転車シミュレーター搭載交通安全教育車両「くまりん号」の活用)。</p>	<p>・効果的な広報を実現するためには、安全行動の実践につなげるよう創意工夫を凝らすとともに、関係機関、団体及び地域住民と協働した施策の推進等が必要である。</p> <p>・自転車関連事故は、出会い頭が約6割を占め、自転車当事者側にも約7割の法令違反が認められていることから自転車安全利用五則を柱とした良好な自転車交通秩序を実現していく必要がある。</p>	<p>・交通安全に対する意識を向上させ、交通事故の死傷者数の減少傾向を維持するよう取り組んでいく。</p> <p>・H27年までに、交通事故死者数が56人以下、交通事故死傷者数が11,000人以下となるよう取り組んでいく。</p>
	<p>交通安全推進等補助</p>	<p>くらしの安全推進課</p>	<p>3,629 3,820</p>				
<p>・ボランティア団体との連携を強め、高齢者世帯訪問活動の推進や反射材用品の普及促進など、高齢者の交通安全対策に重点的に取り組みます。</p>	<p>安全あんしんサポート事業</p>	<p>交通企画課</p>	<p>48,027 14,386</p>	<p>・高齢者の交通安全対策に取り組んだ結果、死傷した交通事故は1,865件2,016人と、前年比で件数が▲25件、死傷者数が▲56人と減少した。</p>	<p>・交通死亡事故の半数以上が高齢者であり、さらにその半数以上が歩行中に発生している事実など交通事故の現状を正しく情報提供し、高齢者自身に認識してもらう。</p> <p>・反射材の効果をはじめ、身体機能の低下が及ぼす各種影響を身をもって体験するなど徹底した教育指導等で、自己防衛意識と事故回避能力を高めることを重点指向した高齢者の交通安全総合対策の推進を図っていく。</p>	<p>・高齢者関連事故では「高齢者の中には、法令周知の不徹底、法令違反の多さ、相手に安全行動を期待する依存行動などがある」「高齢者を取り巻く一般ドライバーにも思いやりやゆずり合いの希薄、欠如が見られる」などの実態があり、事故現状を正しく知らしめる情報提供、交通安全指導及び啓発活動の一層の充実化が求められるとともに、それを実践に結びつけ習慣化させていく必要がある。</p>	<p>・H27年までに、交通事故死者数が56人以下、交通事故死傷者数が11,000人以下となるよう取り組んでいく。</p>
		<p>主な施策のまとめ</p>		<p>●H24年中における自転車乗車中の当事者が関係した人身事故および飲酒運転による人身事故は、ともに前年と比べ減少し、飲酒運転人身事故による死傷者数も減少。</p> <p>●高齢者の交通安全対策に取り組んだ結果、死傷した交通事故の件数、死傷者数とも前年と比べ減少。</p>	<p>●高齢者の交通死亡事故の減少、飲酒運転の根絶および自転車の安全利用に向けた啓発活動の実施。</p> <p>●交通死亡事故の現状の情報提供や身体機能の低下が及ぼす各種影響を体験するなどの指導等、高齢者の交通安全総合対策の推進。</p>	<p>●関係機関、団体及び地域住民と協働した施策の推進。</p> <p>●交通安全指導及び啓発活動の一層の充実化を実践に結びつけ習慣化させる取組み。</p>	<p>●交通安全に対する意識向上と、交通事故の死傷者数の減少傾向を維持する取組みの実施。</p> <p>●交通事故死者数が56人以下、交通事故死傷者数が11,000人以下を実現する取組みの推進。</p>